

## 第61回大東市民体育大会総合開会式・まとめ(案)

### 総括 平成28年5月8日(日) 午前9時30分～

昨年度からは少し減りはしたが、連盟関係による競技参加者、また今回も演技の子どもたちの保護者などによる観覧者が多く見受けられた。

参加者数 総数：616名（内訳⇒観客：37名、連盟関係：530名、来賓：21名、主催者など関係者：28名） 【参考：672名(昨年度)】

#### 1 準備

- ・ 会場設定、行進、特に行進の責任者が明確でなかったため、リハーサルに時間を要したことから、事前にスポ振、体協、体育館管理者による「協議」を終えてから望む必要がある。
- ・ 大会の気運、意識の醸成を目的に、のぼりを体育館周辺に立てるとともに、「市制60周年」、「体協創立50周年」の事業キャンペーン横幕を掲示したことから、その目的は達せられたのではないか。

#### 2 当日

- ・ 国旗、市旗、体協旗の掲揚の際、スタンド観客に徹底されず、一部着席のままであり、司会者によるアナウンスはされているが、「場内の皆様」ではなく、「観客の皆様」にするなど、注意を喚起すべきではないか。
- ・ 自転車駐輪場は手前から駐輪させたことから、式典終了後の動作が比較的円滑になったのではないか。
- ・ 主催者側の上履き準備は事前の伝達をしたため徹底されたが、一部連盟は殆どがスリッパ履きであったため、上履きの準備をするよう、さらなる指導が必要である。また、その対策として靴下を準備した団体に対して、スリッパを履くよう指導があったことから、行進指導担当のスポーツ推進員と統一する必要がある。

#### 3 事後

- ・ 各連盟参加者の事務局への報告が十分でなかった。
- ・ 終了後のメダル、賞状の受け取りを徹底すること。

第62回大東市民体育大会総合開会式について（素案）

○ 日 時

平成29年5月14日(日) 午前9時30分～

○ 事業内容

① 事前

啓発の多様化（ネットの活用）、のぼりの作製、増設

② 模範演技

バスケットボール連盟

参考：前回・バレーボール連盟、前々回・バドミントン連盟

③ 演技・入場行進先導

「バトントワリング」または「バレエ」